

● どうして法人化にするのか？

ここまで山形県バレーボール協会は任意団体として活動を行ってきました。運営費においては、加盟料・公認料・振興協力費等が主な収入源でした。また、パイオニアのホームゲームのチケット収入も大きな財源でした。今後、山形県のバレーボールが発展して行くには、まずはバレーボール人口の増加=普及活動と強化に一層の力を入れて行く必要があります。

そのためには安定した収入の確保、すなわち収益活動を協会全体で行う必要があります。

同時にコンプライアンス上、収益活動をしていく中で税金処理が必要になってきます。現行税金処理はしていませんが、周囲から認められる団体になるためにも定款や規程を遵守した中で、法令に基づいた税金処理をする組織にする必要があります。

これまでの任意団体から脱却し、一般社団法人へ衣替えして行くことが必要と考えます。

また、収益面ではレッドウィングスが無くなったところで V プレミアリーグの試合が開催できなくなりました。強化や普及活動を充実化するにも収益活動は必須です。未来ある子供達に夢と希望を与えることに加え、収益を確保するためにも任意団体から公益的に認知され、戸籍を持つ法人化が必要と考えています。山形県 VB 協会、山形県、各自治体とは友好関係を築きここまで来ました。他県ではあまりない傾向です。

このような官・民が一体となった関係を継続して行くためにも法人化にして、一層の発展をしていく時であることをご理解下さい。

● 法人化にするメリット

- ・ **税制上のメリット**…税金について一定のメリットを受けることが可能になる。
- ・ **法人名義で銀行口座の開設、不動産などの契約ができる**…法人格がないと、代表者個人の名義で銀行口座の開設をするため、資産の区分が困難になり、代表者が変わると運営・存続に支障をきたすこともある。また、任意団体では契約を締結できないこともあるが、個人名ですと当該個人が責任を負うおそれがあり、変更も大変。法人格を取得することにより、対外的な権利義務関係が明確になる。
- ・ **国や地方自治体と契約する場合に有利**…一般社団法人は非営利法人のため、行政機関が外部と契約しやすい。

- ・ **社会的信用が得られる**…一般社団法人は、法に定められた法人として運営することにより組織の基礎がしっかりとするため、任意団体と比べて社会信用が得られる。
- ・ **その他**…
 - ・ 設立に当たって官庁の許認可が不要
 - ・ 行政庁が業務運営全体について監督することはないので、事業に制限がなく、公益事業や収益事業を事業目的とすることができる。また、収益事業を行っても営利性が前面に出ないと考えられる。

<組織としてのスタンス>

- ・ ①法律で保護された組織 → ②永続性・公共性 ③登記(戸籍ができる)
- ・ 戸籍のない存在から ⇒ 社会的地位を持った存在になる = 社会的信用が高まる
(不安定から組織の継続(永続)性がある団体となる)

●一般社団法人化の準備

- ・ 定款の作成…事務局（大宮理事長、川合事務局長）
- ・ 承認…公証人役場（奥山享税理士）
公証人役場よりアドバイスがあり変更する。（以下は主な変更点）
 - ・ 社員 → 会員と表現する。
 - ・ 登記は社員となる印鑑証明が必要なため、最小で立ち上げる。
 - ・ 代議員制の条項など
- ・ 登記書類作成…（奥山享税理士）
奥山享税理士のアドバイスにより、
登記日は4月1日（決算など二度手間を省く）
- ・ 印鑑証明 代表理事 菅原和敏 2通
設立時社員 大宮 彰 1通
" 川合勝芳 1通
- ・ 前準備 印鑑（銀行印）…現在使用のものでも良い。
- ・ 定款に実印を押印
- ・ 委任状 1通
- ・ 謄本、印鑑証明書 → 銀行へ
- ・ 会計ソフトの導入 ①<発展会計>クラウド
②科目設定と入力態勢づくり
…最初の2ヶ月は税理士に依頼し、
3ヶ月以降は事務局で行う。

●スケジュール

- ・理事会(新体制)…3月22日(日)11:00～ 山形県スポーツ会館
※当日資料…各委員会の報告・計画・予算・決算(見込)を
2月27日まで事務局に提出する。
※今年度理事の皆様には新理事会で内容を検討後、資料を配布する。
- ・理事会…5月24日(日)11:00～予定
- ・定時代議員会…5月24日(日)13:00～予定
- ・法人化設立祝賀会…5月24日(日)15:00～予定

●理事会に諮る議案 (赤字は3/22承認事項)

- ・会員の入会…各地区で取りまとめ、
名簿「住所・氏名・電話・FAX・Eメールアドレス・資格」を作成する。
 - ・審判員の入会は27年度の登録申請(3/31まで)を兼ねる。
 - ・振興協力金を頂いている方は、会員とする。
(内1,000円を会費に、残額を振興協力金(寄付金)とする。)
 - ・振興協力金を頂いていない方に、入会を告知する。(入会申込書)同時に
振興協力金一口5,000円以上の協力を要請する。
- ・入会希望者は、入会申込を会長に提出し、理事会の承認を得る。
- ・代議員(会員50名に1人)の選出は各地区に委ねる。運営委員・専門委員が兼ねても良い。
- ・理事は各地区から推薦された者…各1名、協会から推薦された者…7名以内
を推薦し、代議員会の承認を得る。
- ・定例理事会は、原則として3月、5月に開催し、会長が必要と認めたときは
臨時理事会を開催する。
- ・3月の定例理事会の開催は、今まで通り各地区輪番制にする。但し、来年(28
年3月開催の理事会)は経費の関係で山形開催とし、懇親会は行わない。
- ・事業報告、仮決算・事業計画、仮予算
- ・理事・運営委員・専門委員選出…各地区総会決議後変更の可能性あり、次回
5月の理事会で確認する。名誉会長の推挙、顧問参与の会長委嘱
- ・各地区主管大会(県が主催する県大会)の参加料(1チーム10,000円×大
会数)を収入項目として入れ、同額を委託料として支出項目に入れる。
- ・12月13日開催の理事会で付議できなかった一般社団法人の規程等
(A) 専門委員会規程、表彰規程、(B) 加入届、変更届、退会届等
- ・役員は理事の互選であるが、各地区理事長、友好団体理事長または委員長、
事務局長で構成する役員推薦委員会で推薦し理事会で決議、代議員会の承
認を得る。役員案は次の通りです。

●新体制(案)

会 長	菅原和敏
副 会 長	山岸文章
専務理事	川合勝芳
常務理事	大宮 彰
〃	斎藤 篤
〃	石井正宏
理 事	鈴木和弘 (山形地区副会長)
〃	(酒田地区より推薦)
〃	鷺田孝行 (鶴岡地区会長)
〃	楠澤謙一 (新庄地区会長)
〃	安部昭一 (米沢地区会長)
〃	丸川信浩 (長井地区会長)
事務局長	斎藤和敏 (クラブ連理事長)
幹 事	遠藤一人 (運営委員)
監 事	志田 翼
〃	奥山 享 (税理士)
運営委員	村岡 悟 (山形地区競技委員長)
〃	斎藤 亨 (酒田地区理事長)
〃	渡部 伸 (鶴岡地区理事長)
〃	山科 通 (新庄地区理事長)
〃	峰田徳昭 (米沢地区理事長)
〃	長谷部悟 (長井地区理事長)
〃	板垣光次 (競技委員長)
〃	野澤正美 (審判副委員長)
〃	後藤泰明 (指導普及委員長)
〃	三浦和弘 (強化委員長)
〃	結城一秀 (高体連委員長)
〃	高橋圭史 (中体連委員長)
〃	田中幸男 (小バ連理事長)
〃	秋場礼子 (ママ連理事長)
〃	山口和裕 (ソフト連理事長)
〃	櫻田 徹 (ビーチ連理事長)
〃	多田和雄 (クラブ連会長)

専門委員

競技委員	板垣光次（委員長・運営委員）
〃	田井治敬史（副委員長・米沢地区）
〃	村岡 悟（山形地区・運営委員）
〃	中里信哉（酒田地区）
〃	本間智哉（鶴岡地区）
〃	星川貴博（新庄地区）
〃	安部博之（長井地区）
〃	〇〇〇〇（高体連）
〃	熱海俊和（中体連）
〃	〇〇〇〇（小バ連）
〃	〇〇〇〇（ソフト連）
〃	〇〇〇〇（ビーチ連）
〃	〇〇〇〇（クラブ連）
〃	〇〇〇〇（ママ連）

審判委員	斎藤 篤（委員長・常務理事）
〃	野澤正美（副委員長・運営委員）
〃	斎藤隆介（山形地区）
〃	伊藤岳人（酒田地区）
〃	瀬尾 平（鶴岡地区）
〃	鎌田 弘（新庄地区）
〃	桑原健輔（米沢地区）
〃	渡部 修（長井地区）
〃	伊藤 薫（高体連）
〃	大内智禎（中体連）
〃	安孫子栄治（小バ連）
〃	〇〇〇〇（ソフト連）
〃	〇〇〇〇（ビーチ連）
〃	〇〇〇〇（クラブ連）
〃	〇〇〇〇（ママ連）

指導普及委員 後藤泰明 (委員長・運営委員)
" 長谷川利行 (副委員長・山形地区)
" 三浦修一 (酒田地区)
" 大内新作 (鶴岡地区)
" 村岡勝利 (新庄地区)
" 山口 博 (米沢地区)
" 菅原 透 (長井地区)
" ○○○○ (高体連)
" ○○○○ (中体連)
" ○○○○ (小バ連)
" ○○○○ (ソフト連)
" ○○○○ (ビーチ連)
" ○○○○ (クラブ連)
" ○○○○ (ママ連)

強化委員 三浦和弘 (委員長・運営委員)
" 佐藤裕恒 (副委員長・成年担当)
" 横澤 隆 (副委員長・少年担当)
" 小俣幸二 (副委員長・ジュニア担当)
" 黒沼直洋 (成年男子)
" 西尾博樹 (成年女子)
" 結城一秀 (高体連委員長・運営委員)
" 武田宏典 (少年男子)
" 石田和也 (少年女子)
" 高橋圭史 (中体連委員長・運営委員)
" 今井教史 (中学男子)
" 武田夏希 (中学女子)

名誉会長、顧問及び参与

- 名誉会長 中村 弘 (山形地区)
- 顧問 小林茂實 (山形地区)
- 〃 丸山一彦 (酒田地区)
- 〃 斎藤晃次 (酒田地区)
- 〃 加藤玲宗 (鶴岡地区)
- 〃 佐藤玄治 (酒田地区)
- 〃 加藤寛治 (山形地区)
- 〃 高橋佳之 (長井地区)
- 〃 朝井 融 (酒田地区)
- 〃 佐藤喜代志 (酒田地区)
- 〃 土澤幸雄 (米沢地区)
- 〃 武田憲一 (山形地区)
- 〃 金野信勇 (鶴岡地区)
- 〃 山科 博 (新庄地区)
- 〃 和田信也 (米沢地区・高体連)
- 〃 山口和久 (山形地区・中体連)
- 〃 大内新作 (鶴岡地区・小バ連・[専門委員](#))
- 〃 植松順子 (山形地区・ママ連)
- 〃 寺沢康三 (山形地区・ソフト連)
- 〃 多田和雄 (山形地区・[運営委員](#))
- 〃 菊地誠治 (鶴岡地区・ビーチ連)
- 参与 今間信一郎 (鶴岡地区)
- 〃 後藤悦造 (酒田地区)
- 〃 佐藤完司 (酒田地区)
- 〃 伊藤秀二 (新庄地区)
- 〃 野澤正美 (長井地区・[運営委員](#))
- 〃 今野悦郎 (鶴岡地区)
- 〃 吉住光史 (鶴岡地区)
- 〃 高梨勝博 (山形地区)